

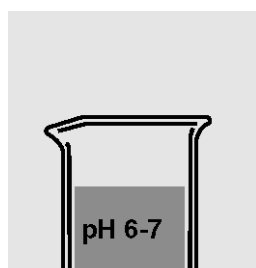
遊離塩素 vario

プログラム番号

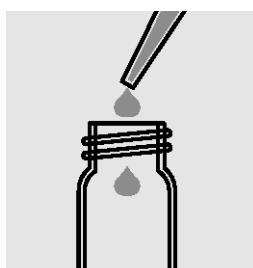
7325

| | |
|-----------|--------------------------------|
| WTW モデル番号 | CI2-1 TP |
| 分類: | RS(試薬試験) |
| セル: | 20 mm |
| 測定範囲: | 0.02~2.00 mg/l Cl ₂ |
| | mmol/l 表示が可能 |

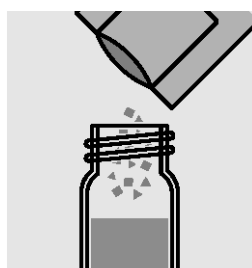
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



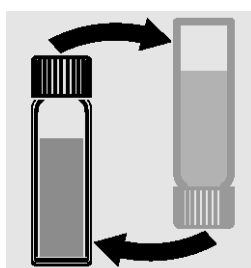
1. 試料の pH 値をチェックします。
必要範囲: pH 6~7。
必要に応じて水酸化ナトリウム水溶液または硫酸で補正してください。



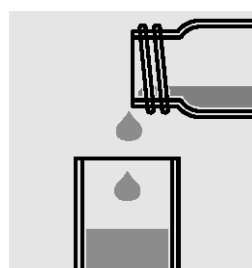
2. ピペットで 10.0ml の試料を取り、空のセルに入れます。



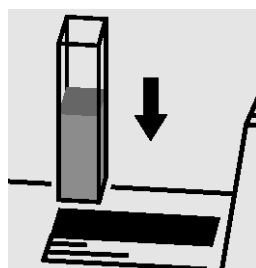
3. VARIO 塩素 FREE-DPD/ F10 粉末パックの中身を加え、ねじぶたでセルを閉じます。



4. セルをよく振とうして(20秒間)中身を混合します。



5. 溶液を測定セルに入れます。



6. 1分以内にセルを光度計のセルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料水はピンク色でなければなりません。試料の塩素濃度が極めて高い場合、溶液の色は黄色になり、測定値が極めて低くなります。この場合は試料を希釈してください。

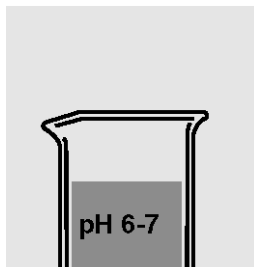
遊離塩素 vario

プログラム番号

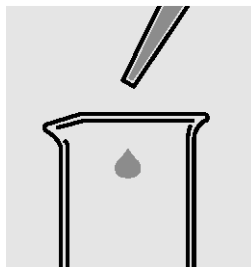
7326

| | |
|-----------|------------------------------|
| WTW モデル番号 | CI2-2 TP |
| 分類: | RS(試薬試験) |
| セル: | 20 mm |
| 測定範囲: | 0.5~5.0 mg/l Cl ₂ |
| | mmol/l 表示が可能 |

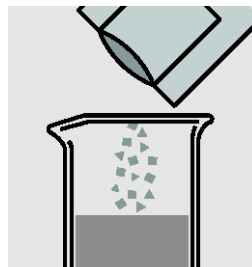
注: お使いの光度計による試験を利用する前に、試薬ブランク値を測定してください。



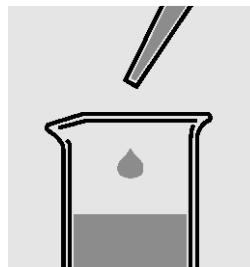
1. 試料の pH 値をチェックします。
pH 要求範囲: 6~7。
必要に応じて水酸化ナトリウム水溶液または硫酸で補正してください。



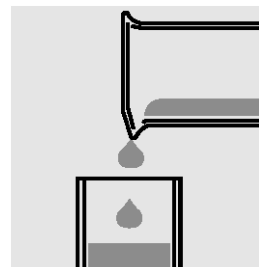
2. ピペットで 10.0ml の試料を取り、空のビーカーに入れます。



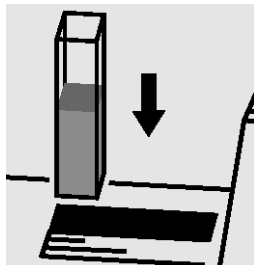
3. **VARIO 塩素 FREE-DPD- F25** 粉末パックの中身を加え、攪拌して溶かします。



4. ピペットで 15.0ml の脱イオン水を加えて攪拌します。



5. 溶液を測定セルに入れます。



6. セルを光度計セルシャフトに挿入し、測定を開始してください。

注:

- 各試験パッケージを開始する都度、直前に新しい試薬のブランク値(試料の代わりに脱イオン水)を測定することを推奨します。
- 試料水はピンク色でなければなりません。試料の塩素濃度が極めて高い場合、溶液の色は黄色になり、測定値が極めて低くなります。この場合は試料を希釈してください。